

2006年12月4日

## 新規アクリル酸プラント完工

株式会社日本触媒

株式会社日本触媒（社長：近藤忠夫）は、かねてより建設を進めておりました姫路製造所のアクリル酸プラント（年産能力16万トン）が完成し、本日（2006年12月4日11時）完工式を執り行いました。

同設備は、日本触媒のコア事業であるアクリル酸・高吸水性樹脂（SAP）事業をさらに強固にするため、2004年4月に起工式を行い建設に着手しておりましたが、このたび完工し、2007年1月から商業運転を開始する予定です。

また、同設備では、工程削減等の新プロセスの採用により、大幅にエネルギーコストの低減を達成しました。

製品のアクリル酸は、需要が堅調なSAP向けやその他の誘導品向けに自家消費します。同時に、今後拡大が予想される塗料・粘接着剤などの用途に、アクリル酸およびアクリル酸エステルとして充分に販売対応できるようになりました。

一方、アジアではアクリル酸の新增設による能力増強が相次ぐため、当社は当面の需給バランスに配慮したオペレーションを行う考えで、新プラント稼働後には小規模系列の一時的休止などでバランスを取ることも検討しています。

以上

本件に関するお問い合わせ先

（株）日本触媒 総務部広報グループ

電話 03-3506-7477